

「大人の学び」を科学する

企業・組織における人々の学習・成長

ナカハラ ジュン 中原 淳 准教授

東京大学 大学総合教育研究センター
本郷キャンパス・第二本部棟4F 411
TEL/FAX 03-5841-7829
jun@nakahara-lab.net
<http://www.nakahara-lab.net/>

■研究テーマは何ですか？

「大人の学びを科学する」をテーマに、企業・組織における人々の学習、成長、コミュニケーションを研究しています。これまで教育学研究のメインストリームは、「子ども」がターゲットでした。「大人」に関する研究は存在しないわけではありませんが、相対的にあまり量はありません。特に、企業・組織内部で、大人がどのように学び、成長しているかに関しては、わかっていることが多くありません。

僕は学部・大学院と教育学を専攻していました。そのバックグラウンドを生かしつつ、「企業・組織で働く大人が、どのように学び、成長し、賢く振る舞えるようになるのか、そのとき他者や組織はどのような影響を与えているのか」「大人が成長し、学ぶための場をどのようにデザインすればいいのか」について研究を進めています。

■具体的にどんな研究をしていますか？

1. 働く大人の学習環境の実態を調べる

「働く大人の学習環境の実態」や「人が育つ組織」の諸特徴をさぐるため、現在、下記のような各種の調査研究を実施しています。

- 1-1. 職場における社会関係資本の発達の程度と、仕事場での経験学習やキャリアがどの程度影響しているかを調べる研究(共同研究)
- 1-2. 職場におけるコミュニケーションや他者からの支援は、成長実感、経験学習、職場学習にどのような影響を与えているのかを調べる研究(共同研究)

2. 働く大人が学ぶためのツールをデザインする

多くのツール、教材、研修、ワークショップのデザイン・実践・評価を行ってきました。近年では、下記のような研究があります。

- 2-1. ロールプレイング型のモバイル英語リスニングプログラム「なりきりEnglish!」の開発(共同研究)
- 2-2. 組織学習診断ツールの開発(共同研究)
- 2-3. Learning barなどのワークショップのデザインと実践

研究分野の性格上、僕の研究分野のほとんどは、産学の協力関係のなかで推進されています。

「社会と大学とのつながり」を大切にしつつ、実践的研究を推進しています。

なお、近年、特に心を奪われているのは、企業・組織という「境界」を超え、「働く大人が働きがいを感じつつ、学び、成長できる仕組みや場を、どのように社会の中にデザインすることができるのか」という問いです。この問いの「壮さ」に悩み、しかし、そうであるが故に、毎日を愉快に過ごしています。